

令和3年度 学校関係者評価 中津市立三郷小学校

1 学校の教育目標: 課題に気づき 深く考え 意欲を高めて挑戦する 児童の育成

2 育成を目指す資質・能力: 言語能力 ・ 問題発見・解決能力

評価判断基準	
A	…達成率90～100%
B	…達成率70～ 89%
C	…達成率60～ 69%
D	…達成率60%未満

計画 (6月16日)		学校関係者評価 (8月27日)	
重点目標	達成指標	評価	意見・感想・今後に向けた要望など
空きて働く知識・技能の習得 采知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成 学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性等の涵養 働き方改革の推進	言語能力の習得 ○児童アンケート「キーワードをつかってふりかえりができた」(書けるか言えるかどちらかできればよい)の項目で◎◎と回答する児童の割合が80%以上 ○国語の単元テストにおける観点別の項目で80点以上の児童の割合が75%以上	B	○既習事項の定着に向けて、「キーワードをつかってふりかえりができた」を達成指標にしていることは効果的だと思う。子どもたち自らが、「キーワードは何か」を考えていく授業を設定してみるのも、生きて働く知識、技能の習得につながるのではないかと考える。 ○スキルタイムで、基礎をしっかりとみんなが身につけてほしい。 ○新聞の活用方法を知らせて、子どもたちに興味関心を持たせて、新聞を読むようになってほしい。 ○小学校では知識向上は基本と思います。今取り組んでいる「キーワード」「スキルタイム」はとてもよいと思います。みんなが単元テストで80点以上になるようにがんばってほしい。 ○アンケートや単元テストで80%に満たない児童のフォローも、今後よろしく願います。 ○親子読書、親子メディアコントロールの取り組みがよい。感想を98%の親が書いていたことから関心も高いと思う。
	考えを深める力の育成 ○児童アンケートで、「ペア・グループ活動を通して思いを伝え合うことができた。」◎◎と回答する児童の割合を80%以上 ○児童アンケートで、「いろいろな方法で考えるためにICT・思考ツールを活用することができた。」◎◎と回答する児童の割合を80%以上 (ホワイトボード・ロイロノートなど)	B	○「ペア・グループ活動を通して思いを伝え合うことができた。」と回答した児童が92%もいたことから、ホワイトボードやロイロノートが効果的に活用されている証だと感じる。 ○ホワイトボードや思考ツール活用に慣れてきたように感じる。今後も様々な場面で活用できるとよい。 ○オンライン授業も、今後、視野に入れた取り組みが必要ではないかと考える。 ○「いろいろな方法で考えるためにICT・思考ツールを活用することができた。」について、児童は92%が達成だが、同項目で教職員の達成が70%なのが疑問。 ○今の子どもたちは、人とコミュニケーションをとることを好まず、苦手な傾向があるようです。ペア、グループ学習は、相互で思いを共有でき、コミュニケーションスキルを身につけるのにとてもよいと思う。 ○思考ツールを使って、視覚的に考えを整理する習慣がつくのはすごいですね。
	身につけた力を活用して意欲的に行動する力の育成 ○共通アンケートの「みんなで何かするのは楽しい」の項目で、当てはまる、やや当てはまると回答する児童の割合を95%以上 ○児童アンケートの「感想発表で、自分の思ったことや感じたこと等を伝えることができた。」の項目で、◎◎と回答する児童の割合85%以上	A	○「みんなで何かするのは楽しい」の項目が98%を超えていることから、自分がまわりの友だちや先生、地域の人とつながっているという意識が高まっていると思う。学校の取り組みが継続され、児童が自らを高めを高めようとする心が育っていることは、三郷っ子を見守る一人としてうれしい限りです。 ○自分の思ったことや感じたこと等、発表の場が多い学校で、先生方にも認めてもらえることは大いに自信につながると思う。今後も丁寧な指導をしていただきたい。 ○「笑顔のあいさつ」に今後もがんばってほしい。 ○先生方、目上の方、大人に対しての敬語なども身につけられたらよいと思う。 ○発表が、中には苦手な児童もいると思いますが、先生方の工夫とアイデアで克服できるものと期待しています。
時間外勤務の削減 ○1箇月の平均時間外在校等時間を40時間以内	B	○時間外在校等時間が40時間を超えている職員が数名いた。先生方がまず自分の健康を大切にしていきたいです。 ○時間外を減らすことで、子どもにしわ寄せが行かないよう注意して、見直しを行っていただきたい。 ○昨年度よりもまた先生方にかかる負担は相当なものだろうと思います。2学期は行事なども多いので、これまで以上に早く退勤できるよう意識されてください。	